

山行報告書

日時	2025 年4月19日(土)～20日(日)		天候	19＝晴れ、20＝霧雨
山名	大分県：渡神岳(ピストン)			
CL	ナン	参加者	SL＝ejjis483 メンバー＝ヒゲ親父、四季山、もっちゃん、阿咩、こーちゃん、yoyo、hiro.m、フジ、ナカシ、T原、さゆさゆ、ねばだずひらい、えーこ(元会員)、えいか(体験参加) ◆総勢16人	
(コース)	◆山菜班 渡神岳(椿ヶ鼻)登山口9:00→地蔵様峠9:40→赤石岳10:40→渡神岳取り付き11:20→赤石岳12:20→地蔵様峠12:35→渡神岳(椿ヶ鼻)登山口13:00 ◆登山班 渡神岳(椿ヶ鼻)登山口9:00→9:15ヒラキ坊主→9:25地蔵様峠→9:55赤石岳→10:30渡神岳取り付き→10:45渡神岳11:25→渡神岳取り付き→赤石岳→地蔵様峠→12:50渡神岳(椿ヶ鼻)登山口 ※20日は「酒呑童子山ピストンチーム」と「釈迦岳～御前岳の交差縦走チーム」に分かれての計画だったが、霧雨のため山行中止			
	◎「山菜ハンター」の目になり、狙った山菜を自分で発見・採取しそれをHさんの古民家で天ぷらにして賞味する。山菜ハイクの醍醐味をこう考え、新品の山菜図鑑を眺めながら山菜情報が未知の渡神岳登山道を歩き始めた。が、ただの低木、ただの草にしか映らない…。ところが、「あれはタラの芽だね」とハンターのA山さん。山菜班の面子は、有名俳優にばったり出会ったように大興奮。無数の棘をまとった枝をA山さんに借りた豚革手袋で持ち、芽が複数あるタラの芽の片方をえいやとむしる。生命力が満ちようとする春の山に浸り、その恵みをほんの少しいただく体験だった。登山や懇親会の様子は、他の方たちの感想をお読みください。山菜ハイクは、アゼリアが誇る大事な企画ですね。もろもろの準備や片づけを率先してやってくださった参加者の皆さん、深謝します。(ナン) ◎待ちに待った山行に初参加出来ました。1週間前くらい迄は天気予報が悪く、何とか初日だけでも持ってくれ～との祈りが通じたのか、その通りの天気となりました。A山師匠の山菜採りの極意を直に聴きながら、実際の山で実践出来たことは期待以上の体験ができ、非常に楽しいものでした。また、古民家でも変わらず本当に楽しいひとときを、参加された皆さんと共有でき、改めて感謝申し上げます。また次回もよろしくお願いいたします。(ejjis483) ◎今年は山頂を無理に目指さず、山菜を取りながら登るコースに参加させて頂きました。経験豊富なA山さんに、山菜とりの装備や心構えを教えていただき、人生初のタラの芽を取ることができ感激でした。企画いただいたリーダー、山菜の準備、宴会の準備、料理、車の運転と関係者の方々に感謝です。ありがとうございました。(ナカシ) ◎1日目の渡神岳は天候に恵まれ楽しい登山ができましたが、素人目には何処に山菜があるのか解りませんでした。事前にコシアブラを取って来てくださったA山さんありがとうございました。大変美味しい天ぷらを食べれました。(フジ) ◎今年も恒例の山菜ハイクに参加して来ました。今年は少々人数少な目ではありましたが、新しい仲間を迎えて、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。一日目は天気にも恵まれ、初登頂の渡神岳の心地よい登山道を軽快に登りました。二日目が雨で中止になったのは、少し残念でした。夜の山菜の天ぷらとバーベキューを美味しく食し、楽しくお酒を頂きました。ご参加頂いた会員のみなさんへ感謝です。(こーちゃん)			

◎「山菜ハイク」企画・運営ありがとうございました。Hさんの好意とお手伝いの皆さんのお陰で他の会に無い、アゼリア最大の売りである恒例のイベントに参加させて頂き有り難うございます。また、何人かの新しい方と話しすることができました。今後も出来るだけ、この企画が続く事を祈っています。(四季山)

◎小国倶楽部に山仲間達が来て、ここで宴会をして、酒盛りをして、カラオケ大会をして、大いに騒いでくれる岳友が来てくれる事を嬉しく思います♪ ここを起点に山登り、温泉巡りをこれからもして下さい。(ヒゲ親父)

◎山は登れませんでしたでしたが充実の2日間でした。なかなかタラの芽は採れないのですが、Tさんは車の中からも発見出来る技があり、毎年感心します。新しい会員さんにもお会い出来、この山菜ハイクは小国の古民家で集い楽しむことができ、リーダーさんやHさん、F原さん、M澤さん、運転下さった方、皆さんのお陰です。また来年もトウキウキしています。ありがとうございました。(もっちゃん)

◎Nリーダー2日間ありがとうございました。買い出しをして下拵えまでして下さいAさん！「こしあぶら」を沢山持参して下さいA山さん！「たらの芽」を採ってきて下さったTさん達！準備や片付けをして下さった山の仲間達！おかげさまで楽しい時間を過ごす事ができました。12月にも又、お会いしたいです。そして、「小国倶楽部」のスタッフの面々、お疲れ様でした。(阿吽)

◎初日の登山は、山菜探索チームとして参加し、A山さんにコシアブラとタラの芽の特徴をレクチャーしていただきました。コシアブラは少し時期が早かったようで、葉っぱが少し出た状態のものしか見つけられませんでした。タラの芽はたくさん見つけ、わくわくしました！自分で収穫したタラの芽を天ぷらにさせていただいたところ、本当に美味しくて感動！夜は楽しくて、ついしゃべりすぎてしまったのが反省点です…(笑) 古民家をご提供くださったHさん、リーダーのNさん、参加者のみなさま、本当にありがとうございました！(さゆさゆ)

◎初めての山菜ハイク参加。恒例の山行との事ですが、とても楽しめました。山菜採りには参加出来ませんでしたが、古民家での宴会で山菜の天ぷらを味わい美味しい焼き肉も頂きました。その後のカラオケも和気あいあいとした雰囲気です。翌日は天候不良で御前岳～釈迦岳登山が中止になり残念でしたが、また来年も参加したいと思いました。リーダー初め、食事の用意をして頂いた方皆さんありがとうございました。(T原)

◎朝モヤの中ボヤけて、連なる稜線に沿って立ち並ぶ、未だ葉っぱの付いて無い木立の線を180度目で追いながら、1人で「キッラー！」と感激してた裏庭。飲み過ぎで楽しかった事しか記憶の無い昨夜の事。そんな翌朝は何時も早く目が覚める。F原さんが綺麗に手入れされている裏庭へは、幾度と無く訪れたい古民家なのに今回初めて下りてみた。山登りは出来なかったけど、あの稜線の風景と幸せに酔えた古民家でのひと時を、有り難うございました。(yoyo)

	◎春の薫りが漂う山里にて、Hさんの古民家に招かれた酒宴とカラオケ大会は、まるで時を忘れるようなひとときでした。卓を囲み、先輩方の笑顔に包まれながら、杯を重ねるごとに心もほどけていきました。山菜ハイクでは木漏れ日の中を笑いながら歩き、コシアブラやタラの芽といった春の恵みを頂くことができました。自然の息吹に触れながら、年上の仲間たちとの距離がぐっと縮まった気がします。その後いただいた天ぷらの香ばしさといったら、言葉に尽くせぬほどでした。人の温かさと季節の美しさに触れ、ただただ感謝の思いがこみ上げてまいりました。こんなにも豊かな時間があることを知り、これからも先輩方と共有できたらと思います。(ねばだずひらい) ◎初日は天気恵まれ、気持ちよくスタートすることができました、初心者の私にとって登山口からいきなり斜面！ チャレンジする心境でAさんについていきました。途中は緩やかになって登ったり下ったりの山道。時に山の斜面を歩く際は少し危ないなと感じたこともありましたが、自分にとって五感を活用した体験で楽しかったです。山頂で班の皆さんと昼食を取りながらコミュニケーションもでき、初めて会う人との距離も縮めました。下山後の温泉、温泉卵、古民家で皆さんと山菜料理やバーベキューを囲んでの懇親会の時は、参加者の皆さんの暖かさに感動しました。二日目は小雨で山行は中止しましたが、初日に疲れが残ったようでちょうどよかったと思いました(笑)！ 貴重な体験をさせて頂き、皆様に感謝です！(えいか)
費用概算	(交通費3800円/人)(食費1200円/人)(宿泊費1000円/人)

